

[市民用]

赤い羽根共同募金等資料

共同募金会糸島市支会

支会長 月形 祐二

(社会福祉法人糸島市社会福祉協議会)

赤い羽根共同募金等の概要

名称	赤い羽根共同募金	地域ささえあい費
骨子	両方の募金や会費は、社会の変化のなか、誰もが住み慣れた糸島市地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ」として、取り組まれています。	
概要	共同募金運動は、都道府県を単位にして行われています。各都道府県内で共同募金としてお寄せいただいたご寄付は、同じ都道府県内で、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や、災害時支援に役立てられます。共同募金運動の期間は10月1日から翌年3月31日までの6か月間で全国一斉に行われます。 ※自治体へ80%以上が配分、その他広域配分	平成22年1月、1市2町の合併を機に、それぞれの自治体社協にあった歳末たすけあい募金を「地域ささえあい費」として名称を変え、市民全員が市社協のサポーターとしての位置づけに変え住民会費にしたのが始まりです。 ※全額、糸島市で活用されています。
背景	共同募金は、戦後間もない昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。今年で80回目を迎えます。	
目標額	糸島市「550円」 共同募金は、地域の福祉団体等からの助成の申請を基に助成計画を立案し、その計画に基づき、助成事業に必要とされる目標額を毎年定めている「計画募金」です。 (参考) 宗像市「700円」、古賀市「630円」 福津市「600円」春日市「500円」、 大野城市「600円」、筑紫野市「750円」	糸島市「100円」 (参考) 1世帯あたり赤い羽根共同募金 旧前原650 旧二丈町600 旧志摩550 住民会費 旧二丈町200 他市町なし 歳末たすけあい募金 旧前原80 旧志摩町100 旧二丈なし
使いみち	令和8年度配分事業費(令和7年度募金) 高齢者福祉 680,000円 (シニアクラブ連合会支援、在宅介護者の会等) 障がい児・者福祉 896,000円 (手をつなぐ親の会支援、障がい者交流事業等) 児童・青少年福祉 1,178,000円 (福祉体験スクール、ひとり親支援、子ども支援等) ボランティア活動 1,316,000円 (団体助成、市民向けの各種講座の開催等) 地域福祉推進 6,636,300円 (広報発行、福祉大会、校区社協活動支援、災害時における被災地支援等) 計 10,706,300円	地域福祉推進の要となる校区社協活動や民生児童委員と共に活動する福祉委員の活動助成に役立てられています。 R7年度実績 2,144,370円 参考(R7 支出実績) 《小地域福祉活動費》 ◇校区社会福祉協議会運営費 3,750,000円 ・一人暮らし等高齢者見守り活動 ・子育て支援事業 ・校区特性に応じた生活福祉課題解決への活動など ◇福祉委員活動費、研修費 1,055,000円

糸島市における共同募金の主な使いみち

共同募金の助成は、在宅ホスピス・点訳ボランティアなど、地域に根ざした小さな福祉活動の費用から、社会福祉施設の改修や車両の整備など、幅広いさまざまな民間の地域福祉活動を支援しています。

災害対策

〈災害ボランティアセンター設置運営訓練〉



▲ライオンズクラブ、青年会議所、防災士合同で実施
その他、広域的に被災地派遣、義援金支援など活動を行っています。

〈災害ボランティアセンター〉



▲R8 年災害ボラバス運行の様子

高齢者福祉

〈シニアクラブ GG 大会への助勢〉



〈糸島市シニアクラブ連合会の活動支援〉



▲初のファッションショーを開催

障がい児・者福祉

〈障がい者問題の啓発〉



▲自閉症 VR 体験

〈糸島市手をつなぐ親の会や身障者福祉協会の活動支援〉



▲社協ボランティア連絡協議会との防災運動会の開催

〈ふくし体験スクールの開催(2日間)〉



▲小学生を対象に手話や盲導犬体験を実施

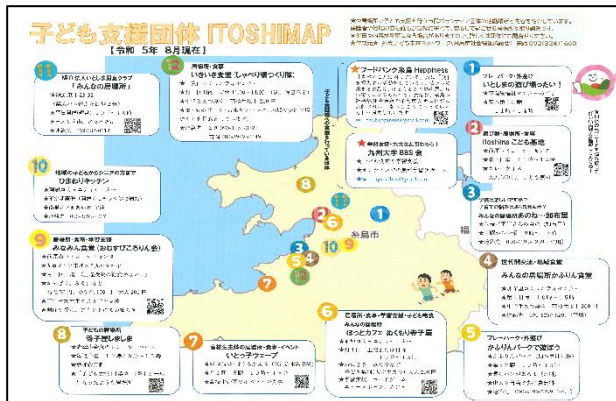
〈糸島市母子寡婦福祉会の活動支援〉



▲親子バスハイクの開催

〈子ども支援団体の活動支援及び支援ネットワークの推進〉

▼支援マップの作成



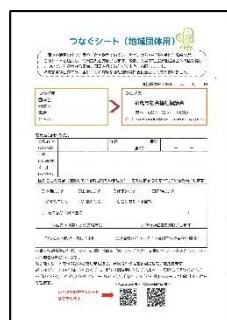
▼支援団体連絡会で情報交換、寄付物品の配布



▼携帯アプリで子ども食堂開催のお知らせ



▶気なる世帯をお知らせする つなぐシートの活用



〈福祉教育の推進〉

小中学校での当事者と協力した福祉教育プログラムの実施



ボランティア活動支援

〈ボランティア連絡協議会(32 団体)の運営/高齢者部会・障がい者部会・子ども部会で市民向け講座の開催〉



◀高齢者部会での
認知症講座

▶障がい者部会での
福祉機器展の開催



〈ボランティア・福祉まつりの開催〉

いとしま Fun の様子 各ボランティア団体、福祉団体の紹介とともに親子で一日楽しめる



〈ボランティア団体の(32 団体)活動支援(運営助成、事業助成など)〉

▼回想法ボランティア「つんのーて」



高齢者サロンで活躍中

▼ファミリーサポート「ゆりかごの会」



子育て支援や社協行事での
託児に活躍中

〈校区社会福祉協議会の(15団体)活動支援〉

▼南風校区社協地域食堂「ひまわりキッチン」



▼波多江校区社協「認知症徘徊搜索訓練」



〈糸島市社会福祉大会の開催〉

一般市民、福祉関係者、ボランティアが一堂に地域貢献している団体を表彰、発表の場として開催



〈いとしみらいトークの開催〉

地域の生活福祉課題の解決を図るためテーマを決め開催



▲出会った人たちで結成した
フードバンク糸島 Happiness
困窮した世帯への支援をしています。

- ▶「わくわくカフェ」参加者同士のわくわくを自由に話し合い、みんなで協力してやってみたい企画を考え交流する場としてみらいトークからR7に誕生しました。

